

三鷹市障がい者地域自立支援協議会(令和7年度第2回)議事要旨

日時:令和7年7月24日(木)18時30分～20時15分

場所:教育センター3階 大研修室・オンライン

出席者:

委員(21人)(順不同、敬称略)

片桐朝美、新津健朗、岡田敏弘、高橋みゆき、南雲潤、平松百花、赤岡かおる、中野弘子、土屋秀雄、吉田純子、大野通子、中野昭精、瀧澤勤、加藤亮一、豊田未知、海老原恵理子、鶴田明子、山崎智世、上野たか子、真坂一穂、大澤里美

事務局(25人)

鳶根障がい者支援課長、香川障がい者相談支援担当課長、本吉障がい者支援係長、池田障がい者相談係長、井上障がい者給付係長、他20人

傍聴者:0人

<配布資料>

【資料1-1】令和7年度三鷹市障がい者等の生活と福祉実態調査について

【資料1-2】実態調査の調査項目と設問について(確定版)

【資料1-3】調査票(案)

【資料1-4】生活と福祉についてのアンケートご協力をお願い

【資料1-5】令和7年度障がい者等の生活と福祉実態調査 調査票等について

【資料2】三鷹市障がい者地域自立支援協議会へのご意見

【資料3-1】地域課題の共有・協議について(生活支援部会)

【資料3-2】三鷹市健康福祉総合計画 2027 他

【資料3-3】三鷹市障がい者(児)地域生活支援拠点 他

参考資料1 三鷹市障がい者地域自立支援協議会委員名簿(グループ分け)

参考資料2 席次表

参考資料3 第2回タイムスケジュール(予定)

参考資料4 三鷹市障がい者地域自立支援協議会への意見シート

参考資料5-1～4 専門部会報告書

参考資料6 「令和6年度版 東京都内の自立支援協議会の動向」について

<議事要旨>

1 報告事項

(1) 令和7年度三鷹市障がい者等の生活と福祉実態調査について

- ・ 事務局
(資料1-1)～(資料1-3)に基づき説明
- ・ 会長

ここまでの報告事項について、質疑等はあるか。

- ・ A 委員

調査回答の締め切りが 9 月 30 日までとある。調査依頼は 9 月に依頼すると書いているが、9 月のいつ頃に調査対象者の手元に届くのか。

- ・ 事務局

回答期間は 2～3 週間必要と想定し、9 月上旬に配布を予定している。

- ・ A 委員

承知した。回答期間に余裕を持った配布をお願いしたい。

- ・ B 委員

(資料 1-4) 調査 A について、普段携わっている障がいのある方が回答することを踏まえると、文字のボリュームが多いように感じる。A3 サイズであると読もうと思ってもらえるを考える。

- ・ 事務局

意見を踏まえて検討する。

- ・ 会長

調査票の見やすさは回答率に繋がる。ぜひ検討してほしい。
他に質問はあるか。

- ・ C 委員

前回の自立支援協議会での意見を受け、お礼状をセットで考えると伺った。障がい者支援課として、回収率はどのくらいを想定しているのか。

- ・ 事務局

前回同様に想定している。

- ・ D 委員

(資料 1-4) 調査 A について、調査対象者が答えやすいようにするため、アンケートがどのように活用されたかという事例を書いた方が良いと思う。しかし、現在書かれているような事例であれば回答しなくても良いかなと思ってしまう。自分の障がい種別に特化して実際に取り組まれた事例があれば、もっと回答へのモチベーションが上がると考える。今の事例だとモチベーションが上がらないと考える。

- ・ 事務局

検討する。

- ・ 副会長

(資料1-4)調査 A などの依頼文は、市の職員が作っているのか。

- ・ 事務局
委託事業者と一緒に作成している。
- ・ 副会長
デザインがたけている業者が色々ある。このようなデザインにたけている事業者に次回頼むのも良いと思う。

(2) 意見シート等でいただいたご意見について

- ・ 事務局
(資料2)に基づき説明
- ・ 会長
(資料2)No.1「これがあったら自立につながる?！」という点については、当事者部会において話し合ってもらえると良いと思う。No.2 について、防災・災害発生時について、一度当事者部会で話し合った時に参加した。その経緯を C 委員に説明してもらいたい。
- ・ C 委員
防災の部分については、当事者部会で話してきたし、今後も話していきたい。しかし、障がい種別がたくさんあるので、テーマがぼやけてしまう。今回の当事者部会では、聴覚障がいの方の防災について話していこうと考えている。また、国立障害者リハビリテーションセンターにて、今まで自分なりの防災用品を作ったことがある。当事者部会で作った防災についてのパネルは、市で展示していると考えている。
- ・ A 委員
当事者部会で協力させていただいていたのでこの点については覚えている。当事者部会では、このテーマについてマニュアルを作ろうという話がでたことがあった。しかし、障がい種別が多様であること、聴覚障がいの中でも、人により障がいの程度が異なるため、困りごとが違い、当たり障りのないマニュアルになってしまう。これでは意味がないため、今後もまた当事者部会の中で話し合っていきたい。
- ・ 会長
災害というと地震などを想像するが、暑さなどもある。次回の当事者部会の発表を楽しみにしている。

2 協議事項

(1) 地域課題の共有・協議について(生活支援部会)

- ・ 事務局
(参考資料3)に基づき説明
- ・ 会長
生活支援部会の委員より発表していただく。
- ・ D 委員
(資料3—1)に基づき発表
- ・ 会長
(資料3—1)の①②が話し合ってもらいたい内容。生活支援部会の発表を受け、気付いたことや今後の部会で活かそうなことなどについて、グループで自由に意見交換をお願いしたい。時間は 30 分とする。

(グループごとに意見交換)

- ・ 会長
各グループでの意見交換を踏まえて、全体で意見や感想、質問等をお願いしたい。
- ・ グループ A E 委員
それぞれの所属で関わっている会議体がどのような目的で開催されているのか、どのような内容を話し合っているのかについて時間を取って話した。また、アンケートについて、どのようにしたら分かりやすくなるのかという点について話し合った。それぞれについて学ぶ機会となった。
- ・ グループ B 副会長
官民連携の例としてたくさんの会議が挙げた。今から挙げる会議は、グループ内の委員が連携体制をとっている一つの成果として捉えている会議である。地域ケアネットワーク事業、三鷹市防災会議、障がい者福祉懇談会、三鷹市居住支援協議会、学校の同窓会、三鷹市総合防災訓練、地域のお祭り、聴覚障がい者協会、Mitaka みんなの防災フェスタ、TVAC(東京ボランティア・市民活動支援センター)、商工会まちゼミ、福祉避難所連絡会等が出た。
- ・ グループ C A 委員
各会議でどのようなことをしているのかについて話し合った。例えば、精神障がいの方が行っているピアサポートについて、リカバリーカレッジを開催していること、

オンライン化したところ、市外の人にも来てもらえる機会であること等を学んだ。しかし、同じような人が来るので、新しい人に来てもらうのは課題だと学んだ。ピアエスキまえについては、障がい者の一時保護事業であるが、4割くらいが障がい児になってきているとのこと。ピアエスキまえは、ケースワーカーからのみ繋がる施設であることも学んだ。一時保護であるが、市長が認めれば期間の延長も認められるとのこと。親の会については、なかなか新しい人が集まらないとのこと。親の高齢化などの問題もある。また、高次脳機能障害の飲み会も開催されている。ぽっぴではぽっぴサロンをやっているが、なかなか人が集まらないとのこと。

- ・ グループ D F 委員

必要な情報をどのように取れば良いのかという点について話し合った。お題からは少しずれるが、グループの共通点である不登校というキーワードを基に課題を話し合った。情報があってもその情報にたどり着けないという課題がある。社会福祉協議会に相談先の一覧があるがなかなかたどり着けない。また、親が相談したいと思っても、相談先にアクセスしにくい点がある。加えて、子どもも相談へのハードルが高い。どのように相談につないで、支援に繋げていくかも大切な課題である。学校卒業後、家族または本人が家にいることを望むと、支援が途切れてしまう。支援者としてはどこかに繋がっていてほしいという思いがある。

- ・ 会長

発表した生活支援部会から、D 委員から何か意見はあるか。

- ・ D 委員

(資料3—3)を紹介したい。ホームページが更新された時点から制度が変わり、地域生活拠点に求められる機能が増えている。来年度南浦小学校で自閉症の子への支援学級ができる。このような話と一緒に進めていければ良いと考える。

5 その他

(1) 各部会からの報告・情報共有について

- ・ 会長

各部会長から報告等あるか。

(各部会長からの報告等なし)

- ・ 会長

最後に、イベントの告知や宣伝等の連絡事項について、委員の皆様から何かあるか。

- ・ A 委員

ホームつぼみの夏まつりを開催する。8月21日17時から。ぜひ来てほしい。

アール・ブリュットみたか2025を10月8日～10月13日に行う。ぜひ来てほしい。

- ・ G 委員

星風マートが来週行われる。ぜひ来てほしい。

居住支援連絡会を2回行った。地域連携推進会議はグループホームが必ず行うこととなった会議。地域の方、行政など様々な人が参加しなければいけない会議。近隣のグループホームでこのような会議があればぜひ参加してほしい。

- ・ 事務局

障がい福祉サービスで働く人へ研修受講・資格取得の助成を今年度から始めた。活用してほしい。

- ・ 会長

予定していた議事は終了した。追加でご意見などがあれば、意見シートなどで事務局まで提出してほしい。

これをもって、第2回自立支援協議会を閉会する。